

【プログラム10:つながいビンゴ ～聴いて、話して、親しくなろう～】

☆ねらい：つながりビンゴゲームを通して、お互いが親しくなろうとする気持ちを高めたり、能動的な傾聴（※注）や適切な自己表現力を身につけようとしたりする。

《プログラムの概要》

キーワードの例	保護者のつながり
時 間	20分
人 数	何人でもできる（20名以上だとより効果的）
活動形態	全体
準備物	ビンゴカード（人数分）フリーカード（1人2枚を人数分）
主な活動	①説明を聞き、つながりビンゴゲームを行う。 ②感想を出し合う。
気を付けること	○しっかり聴くことや、可能な範囲で話してよいこと等を説明し、安心感をもって参加してもらうようにする。 ○できるだけ積極的に自分から声をかけるように促す。 ○参加者がやり方を理解できるように説明は十分行う。
備 考 （アレンジ等）	○全員が動き回れる広さが必要。
他プログラムとの関連	なし

※本プログラムで捉える「能動的な傾聴」とは、

「傾聴」とは、相手の話に耳を傾け、相手の思っていることや感じていることを受け止め、理解しようと努めることです。アイコンタクトやあいづち、また、うなずきなどの共感的な表情等の手法を使って相手の話を聴くことをイメージしています。

「能動的な傾聴」とは、相手の思いを受け入れよう、相手の思いにつながろうとするために、前述した手法等に加え、適度な間合いで相手の気持ちを言葉で表すことを取り入れた聴き方をイメージしています。

話し手は、自分（話し手）の気持ち、感情や伝えたいこと等を他者（聞き手）から聞くことによって、気持ちを整理することができたり、「自分のことをわかってもらえた」という思いをもつことができると言われています。

【プログラム10：つながりビンゴ～聴いて、話して、親しくなろう～】

時間	形態	講座の流れ
1分	全体	<p>1. ねらいを確認する。 【1分】</p> <p>[キーワード] ○保護者のつながり</p>
17分	全体	<p>2. 「聴いて、話して、つながりビンゴ」ゲームをする。 【15分】</p> <p>(1) 方法を知る。〈3分〉※進行役は、進め方シートを使って説明する。</p> <p>○参加者は、ビンゴカード（1枚）フリーカード（2枚）と、鉛筆等を用意する。</p> <p>○カードの項目について、参加者同士、話したり聴いたりする。カードには、同じ参加者の名前が入らないようにする。必要に応じてフリーカードを用いる。自分が質問したいところが既に聞かれていた場合、フリーカードを使うと、相手に質問することができる。</p> <p>○相手からもらったフリーカードは、その後は自分の分として使える。</p> <p>○タテ、ヨコ、ナナメのいずれかがそろったらビンゴとなる。2列ビンゴを作ったら、あがりとなる。</p> <p>※あがりになっても続けてもいいし、自分の席にもどってもよい。</p> <p>※フリーカードは、座っている人にも使える。</p> <p>全体 (2) ビンゴゲームをやってみる。〈12分〉</p>
	全体	<p>3. 感想を全体に紹介する。 【2分】</p>
2分	全体	<p>4. まとめ 【2分】</p> <p>子どもが中学生、高校生になってくると、子ども自身の生活圏なども広がる。しかし、保護者同士のつながりは疎遠になってしまう傾向にある。保護者同士が親しくなり、子どものこと、学校のことなど話せる関係があると、子育てについての情報を共有したり悩みを話せたりする。まずは、保護者同士が親しくなろうとする気持ちをもつことが大事。</p>

【つながりビンゴ～聴いて、話して、親しくなろう～：進め方シート】

《パターンA》

- さん：こんにちは。私は●●です。2番を教えてください。
- ◆◆さん：こんにちは。私は◆◆です。いいですよ。
うちの子どものいいところは、よく話をしてくれるところです。
- さん：ありがとうございました。
うちの子どものいいところは、優しいところです。

※カードの2番のところに、相手の名前を記入する。そして、握手をしてわかる。

《パターンB》

- さん：こんにちは。私は●●です。6番を教えてください。
- ★★さん：こんにちは。私は★★です。
残念ですが、そこはもう答えてしまいました。
- さん：そうですか、わかりました。

※お互い、何も記入しない。握手をしてわかる。

《パターンC》

- さん：こんにちは。私は●●です。10番を教えてください。
- ♪♪さん：こんにちは。私は♪♪です。
残念ですが、そこはもう答えてしまいました。
- さん：そうですか、それでは、このフリーカードを渡します。
10番を教えてください。
- ♪♪さん：わかりました。私の中学時代の思い出は、部活をやっていたことです。
よく怒られもしたけど、楽しかったです。
- さん：ありがとうございました。
私の中学生の頃の思い出は、修学旅行で一晩中おしゃべりしていたことです。次の日、とても眠かったです。

※●●さんは、10番のところに♪♪さんの名前を記入する。
♪♪さんは、●●さんからフリーカードをもらう。
そして、握手をしてわかる。

◎カードの項目それぞれについて、全部が違う参加者の名前になるようにしましょう。

◎フリーカードを効果的に活用しましょう。

※質問したいところが既に質問されていた場合でもフリーカードを使うとその部分を質問することができます。

「つながりビンゴ」カード

1	2	3	4
自分のすきなところは？	我が子のいいところは？	あなたは、どんな子どもだった？	地域のいいところは？
名前：	名前：	名前：	名前：
5	6	7	8
ストレス発散法は？	10年後の自分は？	どんな人になってほしい？	行ってみたいところは？
名前：	名前：	名前：	名前：
9	10	11	12
子どものころの夢は？	中学生時代の思い出は？	あなたのすきな食べ物は何？	10年後の子どもは？
名前：	名前：	名前：	名前：
13	14	15	16
今、やりたいことは？	子どものことで嬉しかったことは？	子育ての悩みや苦労は？	紹介したい人は？
名前：	名前：	名前：	名前：

フリーカード 1

このフリーカードを使うと
どこでも質問できます。

フリーカード 2

このフリーカードを使うと
どこでも質問できます。